

もくぞうこくぞうぼさつざぞう  
「木造虚空像菩薩坐像」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（彫刻） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字力石 707 番地 如法寺
- 所 有 者 如法寺
- 概 要 檜材一木造り、素地、彫眼  
寸法 像高 60 cm、頂～顎 22.4 cm、髮際～顎 12 cm、面幅 10.5 cm、面奥 12 cm、  
肩張 25.5 cm、胸厚 14.5 cm、膝張 38.5 cm、坐奥 32.5 cm、坐高 11 cm
- 時 代 室町時代
- 公 開 寺室のため非公開

頭軀共木の完全な一木造りの古い手法により彫成しています。小像ではありますが、力量感ある像で、膝の厚み、坐奥も深く安定した形容の像です。衣文の構成は非常に大まかですが、力強いところを示していて、地方作として大変珍しいものです。

